

第4回飯田市社会福祉審議会 健康づくり分科会 議事録（概要）

■ 開催日時 令和6年2月1日（木）13：30～14：33

■ 開催場所 飯田市役所C棟 3階 C311～313 会議室

■ 出席委員 13名

氏名	出欠	氏名	出欠
藤本 清明	○	今牧 とき子	○
岡田 里子	×	嶽野 英樹	○
原 重一	○	土屋 堅一	○
桃井 浩紀	×	桐原 孝尚	○
林 祐子	○	秋山 真生子	×
山上 真優	○	生島 雄太	×
小口 李歩	×	渡邊 嘉蔵	×
熊谷 晶子	○	前沢 正義	○
佐々木 樹朗	×	小池 敏文	○
小林 伸	○	林 恵子	○
下村 悦子	×	久保田 愛	×

■ 出席事務局

氏名	部・課・係名	備考
林 みどり	健康福祉部長	
宮嶋 栄次	保健課長	
土屋 充彦	健康推進係長	
矢澤 美枝	保健指導係長	
福澤 紀美江	保健政策担当専門技査	
福沢 明子	保健課専門技査	
大平 美幸	保健指導係（自殺対策推進計画担当）	
熊谷 光恵	保健指導係（自殺対策推進計画担当）	
遠山 幸一郎	保健指導係（自殺対策推進計画担当）	

■ 任命書交付（山上真優氏）

■

1 開会

2 健康づくり分科会長あいさつ（藤本清明分科会長）

皆さんこんにちは。

新年早々能登半島での地震があり、追っかけるようにして羽田で航空機の衝突事故、それから大雪で立ち往生というニュースもありました。また地元ではまたコロナが増えているというニュースを聞いております。騒然とした新年が明けたので、今年は大丈夫かなと心配になるわけで、能登半島その後の被災地の状況は毎日流れますが、その中であるテレビ局のコメンテーターが「海外では日本は被災者に対して難民扱いをしている」といったコメントがありました。どういふことか聞いておりますと、皆さんも映像をご覧なられているかと思

いますがほとんどの避難所が体育館で床に直接座ったり寝たりと、海外では普通考えられないことで、それはもう難民キャンプだということだったんですけど、私たちは畳の生活に慣れてますから床に座ることはそんなに抵抗はないんですが、ただ言われてみれば避難後でも床にブルーシートを敷くくらいです。最近は段ボールの簡易ベッドやパーティションが普及してきましたけれど床の対策は災害の非常用倉庫に備蓄はないですし、市の方からも防災訓練でも床の対策について私は少なくとも聞いたことがない。体育館で立っていると冬だと足元から冷えてきますよね。海外であたり前の避難所の設備が、わが国ではまだまだ発想すらないということを感じた次第です。

地区の防災の会議で床の話は1回もしたことないし聞いたこともないので、これから最終的に避難所というものはどういうものなるかという中でこれから長期計画の中で揃えていく必要があるのかなと感じました。

そういうふう感じたのは、そういう環境の中で果たして命は助かるけれど健康を維持していけるのか、もう1か月経ちますがそれについて思いをはせながら審議をしていただければありがたいなと思います。

今回は大きな2つの計画書の審議をしていただきますが、よろしくお願い致します。

3 健康福祉部長あいさつ

みなさん改めましてこんにちは。ただいまの会長の心のこもったごあいさつをいただいて私の方から申し上げることはないのですが、本日は第4回目ということで今年度は本当に数多くの会議を重ねさせていただいておりますが、ご出席いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

能登半島のこの度の地震のことは胸が潰れる思いで、離れたここにいことができることはいととなかなかないんですけど、今の段階では心を寄せることくらいしかできないといったことかと思いますが、市としましては市立病院からDMAT隊が既に3隊、それ以外にも廃棄物処理、水道・下水道、家屋調査、罹災証明の発行の手伝い、避難所支援ということで続々と各部署から応援が入っています。報道されているとおりであります、今後も引き続き息の長い支援になるということで行政としても覚悟を決めて取り組んでいくということです。

昨年9月に防災訓練を行いました、久しぶりだったのでそれがうまくいったかどうか振り返りをちゃんとしないといけないと言っていたところに今回の地震がありました。もし飯田で地震が起きたらどうなるということをきちんと振り返らないといけないという話をしてるところなんです、先ほど会長の仰った床に座っているという話は正にそんな中でも出ておまして石川県の方で段ボールベッド用の段ボールの備蓄が殆ど無くて阪神淡路大震災の時は床に座り、寝ている状態だったのが3.11の時にはだいた床から上がったそうです。ところが今回の石川県ではまた戻ってしまった。なぜかという段ボールベッド等の備蓄が無かったこと、突端まで道が通れなくて他の所で持っている物も持って行けなくて、なかなか届けられない現状があったようでして、やはり心身の健康を避難所でも最低限維持するためにはそういった物が必要で、それは普段備蓄しておかないといけないということを改めて市の危機管理の方でも痛切に感じたことのように、今後準備していかないといけないかなと思っております。

先ほど会長からお話しのありましたようにコロナの関係は、県が毎週水曜日に県内10圏域に分けて公表しているんですが、先月28日までの1週間では南信州圏域が県内10圏域で最も多かった状況でありまして、インフルエンザも1番多かったという状況です。市立病院は面会禁止になってしまった状況もありますのでコロナは5類にはなったんですがやはり気を付けなくてはならないなというところでございます。

一番寒い時期ですのでみんなで気をつけて、心がけるしかないんだろうなというところでございます。

本日は先ほど会長からお話がありましたように2つの計画の最終協議をお願いするわけですが、先ほど資料の紹介でもありましたけれど、パブリックコメントをいただいたりしてお

りますのでそういったこともご紹介しながら最後のご協議をいただいて、2月7日の本部会に報告をしていくということになります。最終ですが皆さんからご意見をちょうだいしまして決定ということにさせていただきたいと思っておりますので、本日もご意見を是非ともお出しいただきたいということと、今まで回を重ねてご協議いただきましたことに感謝を申し上げまして、まとまりませんがごあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願ひ致します。

4 協議事項

(1) 健康いいた 21 (第三次) 健康増進計画 (案) について

ア パブリックコメントの結果について

意見なし。

イ 健康いいた 21 (第三次) 飯田市健康増進計画 (案) ・概要版の説明

異議なし

ウ 飯田市社会福祉審議会本部会委員長への報告案について

異議なし

(2) 第2次飯田市自殺対策推進計画 (案) について

ア パブリックコメントの市の考え方について

質疑

A 委員：最初読んだ時に精神の患者さん達の集まりや助け合いみたいなものをイメージしているのですが、考え方の中に身体障がいのあるピアサポーターによるピアカウンセリングや、ピアサポーター養成講座というふうに言われているんですけど、市の中でメンタルの問題を抱えている方たちのケア的なものはなかったでしょうか。

意見を出された方がどういうイメージで話されていたかわからないんですけど、全部の障がいに対してのそういうものがイメージされているところがあるのではないかと思うので 広くとらえていただいた方がいいように思えます。

あまり具体的なお話しはできないのですが、メンタルでの問題を抱えている方達へのサポート等も含めての考えを示していただいた方がいいように思えます。

事務局：精神患者さんのピア的なものは市としては行っていませんが、行っている団体もありますので情報共有をしながらと思っています。また今回お寄せいただいたご意見は精神的なものなのか、アルコール的なものなのかかわからない部分がありましたので、福祉課とも情報共有しながら市としてどういうことをやっているかという中で、市の考え方をこのようにしました。

回答を変えた方が良いというご意見でしょうか。

A 委員：全部の障がい者に対してのサポート的なものが入る必要があるのかなと思うので、そういう意味合いを含めた表現にさせていただいた方がいいように思います。身体障がいとはっきり言われてしまうと、それだけなのかと思ってしまうので発言しました。

事務局：身体障がいの方とぴあを会場としたという書き込みをしましたが、一番最後の活動内容というところが身体障がいだけではなく他の内容も含んだ意味で書きましたけれど分かりにくかったのもう少し詳しく書き加えたいと思いますのでお願い致します。

議 長：パブリックコメントに対する回答として、もう少し書き込むといったことでよろしいですか。
先ほどの説明で本計画 36 ページの 32 番の中には精神障がい者に対する支援も入っているようなので計画そのものはそれで包含できるかと思うのですが、コメントに対する回答の部分で精神障がいの方にも手を差し伸べる形での回答が望ましいかと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

異議なし

議 長：それでは、パブリックコメントについては、今いただいたご意見を含めて少し文言を直していただくということでお願いします。

イ 第 2 次飯田市自殺対策推進計画（案）・概要版の説明

A 委員：意見ではなく要望ですが、今説明いただいたとおり働き盛りの年代の方の自殺される方が多いのと、若者の自殺が 15～30 歳の死亡原因は自殺が第 1 位、20 歳未満の自殺死亡率が全国ワースト 2 位とはっきり数字に表れています。基本施策の中にゲートキーパー養成講座というものが出てきていますが市の職員だけの研修だけでなく、広く働き盛りを抱える企業さんと連携することを考えてゲートキーパーの対象を広げていただきたいなと思っています。若者の自殺に関しては高校生の亡くなっている数がとびぬけているように思いますので、働きかける対象がはっきりしているところがあるので、例えば高校と連携をとっていただいて、窓口の紹介だけではなくメンタルヘルスの研修を取り入れていただくなどの対策とか実際に中に入っていただくことを是非やっていただければと思っておりますので、よろしくお願い致します。内容そのものを変えていくとかそういうお話ではありません。

議 長：実施する段階での要望というか、貴重なアドバイスとお聞きしておりました。是非そのように考えていただければと思います。
他にはいかがでしょうか。

異議なし

ウ 飯田市社会福祉審議会本部会委員長への報告案について

事務局：一つ確認をお願いします。
先ほどいただいたご意見を付帯意見に加えるかどうかですが、付帯意見の中に含まれていると考えていますが、加えるかどうかを諮っていただければと思います。よろしくお願い致します。

議 長：付帯意見の 2 番に表現はしてあると思っておりますが、先ほどのご意見はより具体的なお指摘がございましたので、その部分を盛り込むかどうか

かがでしょうか。

盛り込むことに賛成の方は挙手をお願いします。あえて盛り込まず、付帯意見2で包括的に表現しているということで解釈するかですが、いかがでしょうか。

具体的に盛り込んだ方が良いという方は挙手をお願いします。

5人の挙手

議 長：過半数には達しておりませんのであえて入れず、付帯意見はこのままにしたいと思います。

説明する機会があれば具体的な内容に触れたいと思います。記したとおりでいきたいと思いますがよろしいですか。

異議なし。

議 長：他にご意見はございますか。

意見なし。

議 長：他にご意見がないようですので、この内容をもって答申することを本部会で報告致します。

(3) 今後の予定について

(4) その他

5 連 絡

6 閉 会